

河川整備計画の策定に向けて

余野川ダムの計画について

説明資料【ダイジェスト版】



国土交通省 近畿地方整備局

猪名川総合開発工事事務所

流域の都市化、狭窄部上流では浸水被害が発生、 猪名川下流部は都市群を擁して、交通網が集中しています。

※次は中面
左からご覧
下さい。

猪名川の現状

上流部

流域の都市化

猪名川の上流部は、京阪神地域のベッドタウンとして急速に開発が進行しています。



銀橋を含む狭窄部と上流の市街地（下流から上流を望む）

下流部

都市化の進展

猪名川下流部は、阪神工業地帯の中心である尼崎市、伊丹市などの都市群を擁しています。

交通・交易の大動脈

下流部は大阪空港をはじめ、日本列島の東西を結ぶ交通網（名神高速・阪神高速・中国縦貫道路、山陽新幹線、JR東海道線、阪急電鉄等）が集中しており交通の要所となっております。市街地では

高い堤防のすぐ近くまで家が建ち資産が集中し、ひとたび堤防が壊れると（破堤）、人命が失われ家屋が壊れるなど壊滅的な被害が生じます。

猪名川・神崎川の下流部



堤防に隣接する家屋（猪名川右岸1.8km付近）

猪名川の治水上の課題

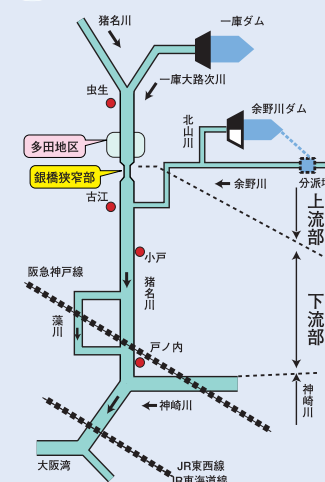
狭窄部上流の浸水被害

狭窄部上流の多田地区では、近年において度々、浸水被害が発生しています。

■昭和58年9月洪水
台風10号猪名川流域浸水実績図



■昭和58年9月洪水被害状況写真



今後の整備方針の概要

●破堤による被害の回避・軽減

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえて、順次堤防の応急的な強化を実施します。また、あわせて被害ポテンシャルを軽減する対策も実施に向けて検討します。

●浸水被害の軽減

狭窄部上流の浸水被害に対しては、下流堤防の破堤の危険性を増大させるような狭窄部の開削は当面できないことから、既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標とした対策の実施に向けて検討します。

狭窄部上流・多田地区の浸水被害を解消するために、あらゆる対策を検討します。

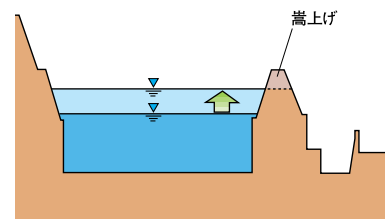
狭窄部上流の多田地区では、近年においても度々浸水被害が発生しています。一方、周辺では宅地化が進んでおり、それらの地域の特性を考えると早急に浸水被害の軽減を図る必要があります。そこで狭窄部上流の浸水被害を軽減するために考えられるあらゆる対策案について、各々の効果、事業費、事業工程、周辺自然環境および社会環境に及ぼす影響を検討し、本整備計画において実施可能な対策案を選定します。また、上記ハードによる対策と同時にソフトによる対策も推進します。ここで、対象とする洪水は既往最大規模の洪水である昭和35年8月洪水とします。

●現在の施設を活用する方法●

貯留施設(調節池)

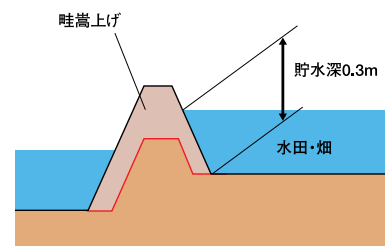
猪名川上流部の調節池などを嵩上げすることで洪水調節容量を増強する方法です。

■調節池



田畑の貯留効果

猪名川上流部で利用されている支川沿川の水田の畦を嵩上げすることで、貯留効果を期待する方法です。



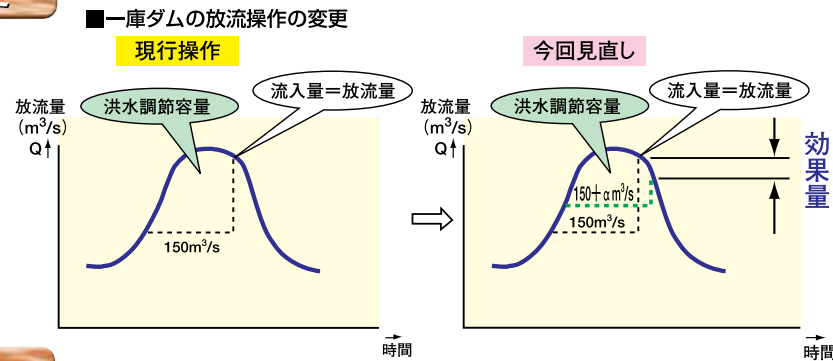
森林の保水機能

日本学術会議(答申)(農林水産大臣の諮問に対する答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について」(平成13年11月))において、「森林は中小洪水においては洪水緩和機能を発揮するが、大洪水においては顕著な効果は期待できない」との見解が示されています。

●既設ダム(一庫ダム)を有効活用する方法●

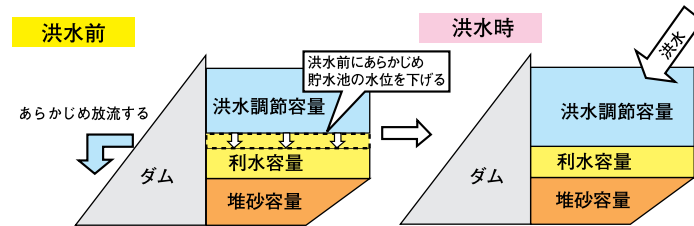
放流操作の変更

一庫ダムの放流操作を変更することで貯水池を有効活用する方法です。(イメージ)



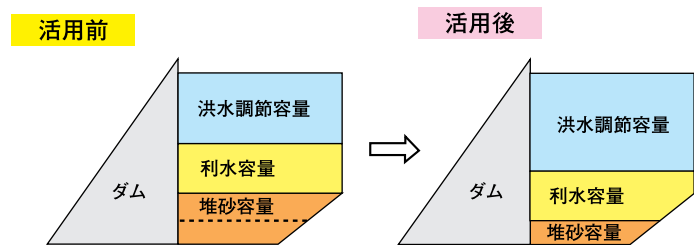
予備放流

洪水が発生すると予測される場合にあらかじめ、貯水池の水を下流に放流し水位を下げることで洪水調節機能を増大させる方法です。



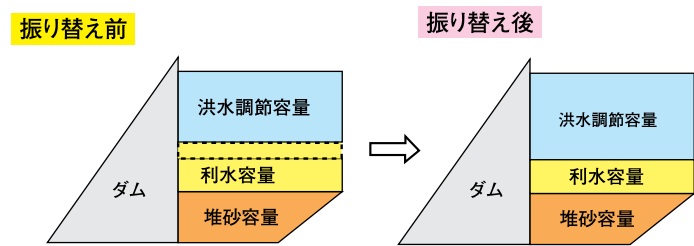
堆砂容量の有効活用

一庫ダムの堆砂容量の一部を浚渫等により確保し、洪水調節容量を増加させる方法です。



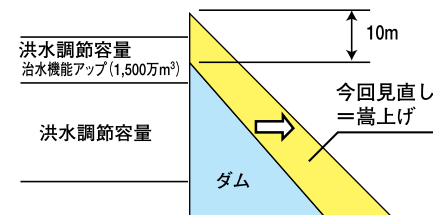
利水容量の振り替え

一庫ダムの利水容量の一部を洪水調節容量に振り替える方法です。そのためには、
●水需要の抑制により、一庫ダムにかかる利水容量を減らし、洪水調節容量を増強する方法です。
●一庫ダムの利水容量の一部を他のダムや地下貯留施設などに振り替えて、洪水調節容量を増強する方法です。



一庫ダムの嵩上げ

ダムの嵩上げで洪水調節効果を増加させる方法です。周辺の地形・地質条件や上流域の家屋の水没により、嵩上げ高さは約10mが限界です。



●新たな施設で対応する方法●

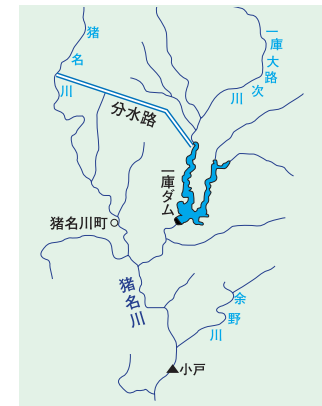
バイパストンネルの設置

狭窄部上流にバイパストンネルを設置し、トンネル呑口にゲートを設けることにより、流量を調節して放流する方法です。



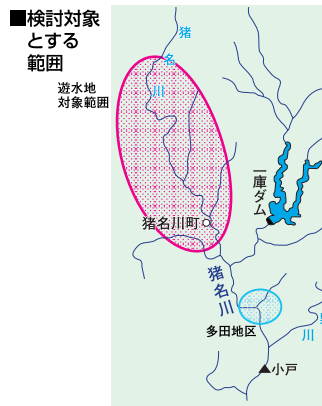
分水路(導水トンネル)の設置

分水路(導水トンネル)により、猪名川本川から一庫ダムへ本川流量の一部を導水することにより多田地区上流の本川流量を低減する方法です。



遊水地の設置

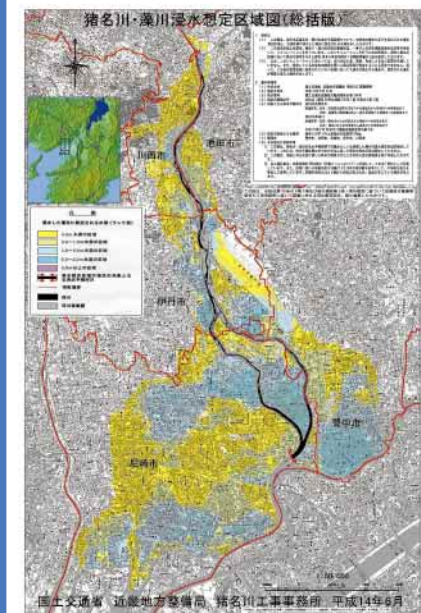
従来より浸水域であった箇所に対して、設けるなど計画的にできるだけ水を貯留して貯留機能を向上させる方法です。



●氾濫原対策(土地誘導などのソフト対策)●

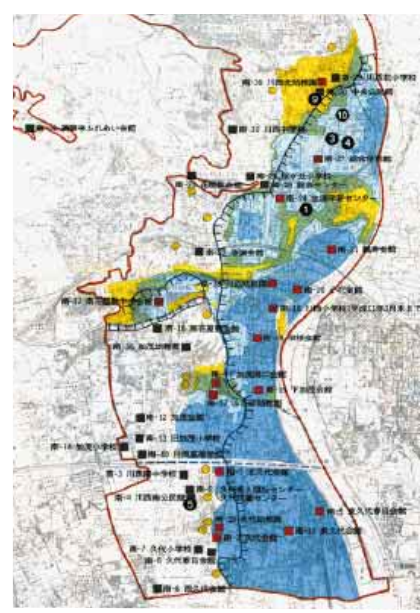
浸水想定区域図

流域住民への周知のため、浸水想定区域を公表しています。



洪水ハザードマップ

ハザードマップ(非常用の地図)を作成、公表。この図には、浸水想定、避難すべき地区と避難場所、連絡先などが記載されます。



施設対応、情報伝達

氾濫原対策として、猪名川町や伊丹市例です。



狭窄部上流対策のまとめ

対策案を検討した結果、次のような案が実施可能で、効果があると考えられます。

●既存貯留施設（調節池）の活用

既往の施設を活用でき施工が容易であり、周辺自然環境および社会環境への影響がないことから4箇所を実施可能と判断しますが、今後は、さらに活用できる施設について調査・検討します。

●一庫ダムの放流操作の変更

新たな施設整備（事業費）が不要で、周辺自然環境への影響および社会的影響はありませんが、単独では実施できず、他の対策との組み合わせにより下流への流量増とならない場合、実施可能となります。したがって、さらに検討を行います。

●一庫ダムの堆砂容量の有効活用

浚渫・運搬時に騒音・粉塵等による周辺自然環境および社会環境の問題が懸念されますが、社会環境の影響については対応可能と考え、実施可能で有効な方法と判断します。

●一庫ダムの利水容量の振り替え

水需要の精査・確認を行います。余野川ダム事業地では用地買収がほぼ完了しており、社会的影響も軽微なことから貯留施設として有効活用できます。貯留施設である余野川ダムは一庫ダムの水道開発量の一部を肩代わりすることが考えられます。

●新たな遊水地の設置

施工面では実施可能ですが、社会的な影響が大きいため、引き続き検討します。

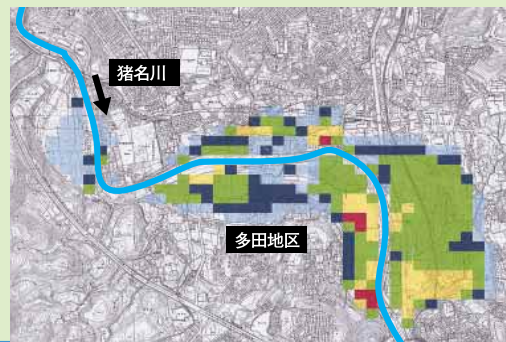
●氾濫原対策

浸水に強いまちづくり推進のため即効性のあるソフト対策を支援していきます。

狭窄部上流対策の効果（氾濫シミュレーション）

条件 ●降雨条件：昭和35年8月洪水の実績降雨 ●土地利用状況：現在

「貯留施設（調節池）」・「一庫ダム堆砂容量活用」・「一庫ダム利水容量振替」・「一庫ダム放流操作変更」・「遊水地」の対策を実施すると、多田地区の被害は軽減されます。



現状 被害額：630億円
●浸水戸数：床上浸水家屋数 1,140戸
床下浸水家屋数 290戸
(昭和35年8月洪水の実績降雨)



現状 + **狭窄部上流対策** 被害額：290億円
●浸水戸数：床上浸水家屋数 760戸
床下浸水家屋数 220戸
(昭和35年8月洪水の実績降雨)

- 1.多田地区の浸水被害を早期に軽減するため、現在の調節池や一庫ダムの放流操作の変更・堆砂容量の活用・利水容量の振り替え、遊水地の新設が有効です。
- 2.一庫ダムの利水容量振り替えのための貯留施設として、余野川ダムが有効です。
- 3.多田地区の浸水被害を軽減するため、兵庫県の整備計画と調整を図ります。

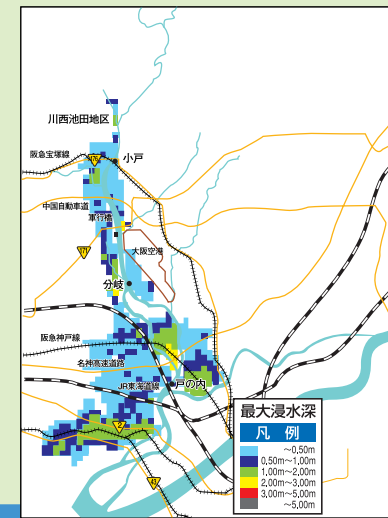
ただし、これらすべての対策を実施しても、既往最大規模の洪水に対する多田地区の浸水被害は解消できません。

下流部浸水被害の軽減効果

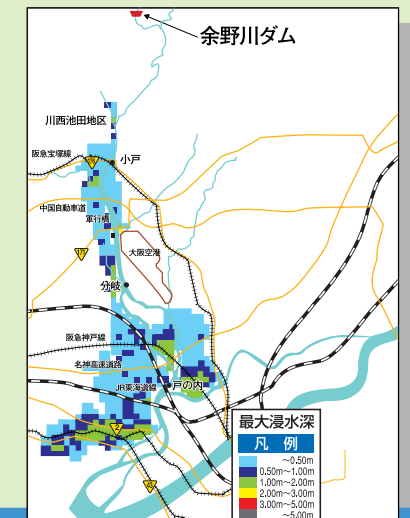
余野川ダムは下流部の浸水被害を軽減する効果があります。

余野川ダムの効果（氾濫シミュレーション）

条件 ●洪水調節容量：1,120万m³ ●下流部堤防（破堤）条件：天端-1.5mで破堤 ●降雨条件：昭和28年9月洪水の実績降雨の1.5倍 ●土地利用状況：現在



現状 下流部の被害額：19,975億円
(昭和28年9月洪水の実績降雨の1.5倍)



現状 + **余野川ダム** 下流部の被害額：16,334億円
(昭和28年9月洪水の実績降雨の1.5倍)

まとめ

- 1.狭窄部上流多田地区の浸水被害を早期に軽減するため、既存調節池の活用、既設一庫ダムの放流操作変更、堆砂容量の活用、利水容量の振り替えおよび新たな遊水地の設置が有効です。
- 2.既設一庫ダムの利水容量の振り替えのための貯留施設として余野川ダムが有効です。
- 3.余野川ダムは下流部の浸水被害を軽減する効果があります。

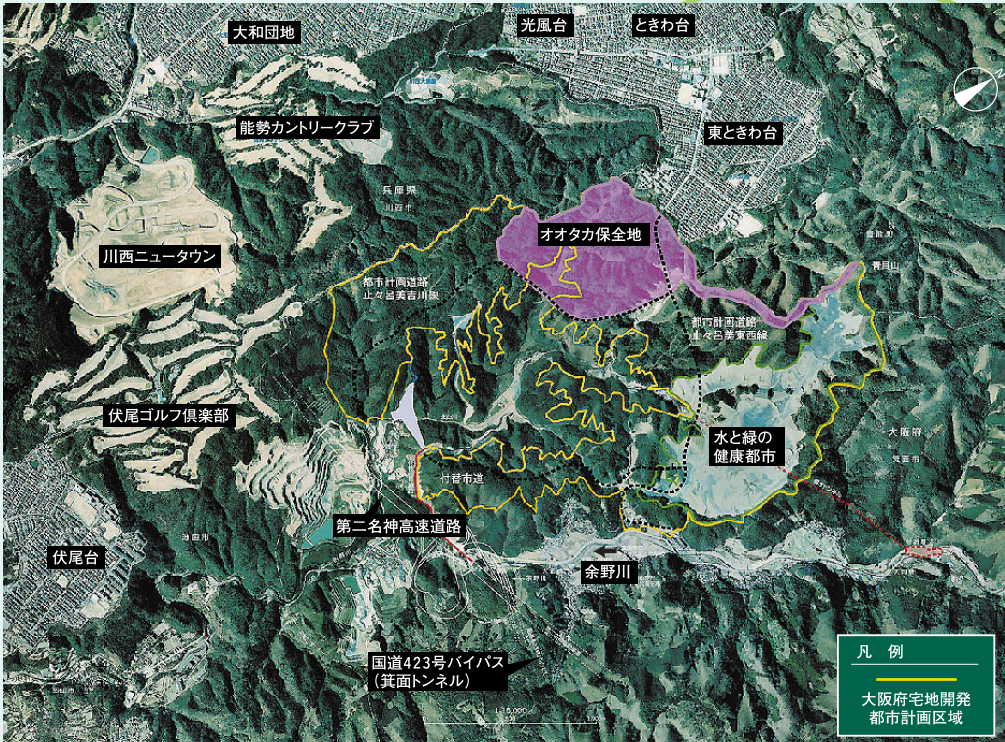
今後の調査検討について

- 余野川ダムの貯水池規模の見直し並びに余野川ダムおよび一庫ダムの貯水池運用の変更を行う場合は環境等の諸調査を行います。
- 土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行います。
- 利水について、早急な水需要の精査確認を行います。

余野川ダム事業地周辺の現状〈参考〉

余野川ダムの貯水池周辺には宅地・ゴルフ場・道路等の開発が進んでいます。

■余野川ダム事業地周辺



オオタカ保全地は概ねの範囲を示しています。(2001年2月撮影)

周辺の開発状況

- **宅地**
伏尾台、光風台、ときわ台、東ときわ台、大和団地、川西ニュータウン
- **ゴルフ場**
伏尾ゴルフ倶楽部、能勢カントリークラブ
- **道路**
第二名神高速道路、国道423号バイパス
- **その他**
霊園2箇所、採石場、生コンクリート工場

■余野川ダム事業地の状況



余野川ダムの建設が予定されている箕面市止々呂美地域は古くから里山として人と自然が共生してきた場所です。



■余野川ダム事業地と周辺状況



.....ダムのイメージです

■分派堰周辺



資料の閲覧方法及び資料請求の方法

資料の 閲覧方法

「淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料」および「淀川水系流域委員会資料」の閲覧は、下記のホームページにて公開していますので、ご覧ください。また、「淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料」の郵送も下記のとおり受け付けております。

淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料

1. ホームページによる閲覧

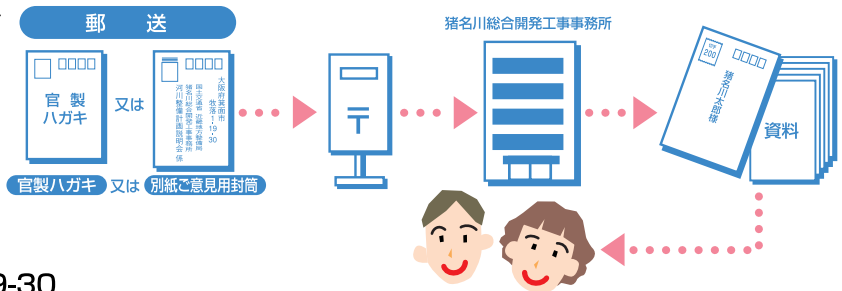
右記アドレスで閲覧
できます。



2. 郵送で資料請求

別紙のご意見用封筒、又は官製ハガキに必要事項をお書き頂いたのち、下記宛先までご郵送ください。

※官製ハガキをご利用される場合は、ご郵送先の住所、郵便番号、ご氏名をお書きいただき、表面には「資料請求」と朱書きいただき、下記宛先までご郵送ください。



宛先

〒562-0004 大阪府箕面市牧落1-19-30

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所「河川整備計画説明会 係」

3. FAXで資料請求

別紙の「ご意見用封筒・FAX送信票」の資料請求欄にお名前、ご住所、郵便番号等必要事項をご記入の上、右記宛先までご送信ください。所定の用紙以外でも必要事項をご記入の上ご送信いただけます。
※



ダムの資料を請求する
●お名前・年齢・職業
●E-mail
●電話番号
●ご住所
●性別
●余野川ダムについてのご意見

※所定の用紙以外の場合
左記の項目をご記入の上、下記宛先までご送信ください。
(お名前の公表に支障がある場合は) 否とお書きください。

FAX.072-725-1090

淀川水系流域委員会資料

1. ホームページによる閲覧

http://www.yodoriver.org

2. 郵送で資料請求

資料についてのご質問、または郵送をご希望の場合は、下記宛先までお問い合わせください。

宛先

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル7F)

淀川水系流域委員会 庶務 株式会社三菱総合研究所 関西研究センター

TEL.06-6341-5983 FAX.06-6341-5984

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所

TEL.072-725-1081 FAX.072-725-1090

2003.6



●この印刷物は再生紙及び環境対応型大豆油(SOY)インキを使用しています。

これまでの経緯と今後

平成9年に改訂された河川法では、「治水」「利水」にくわえて「河川環境の整備と保全」が目的に追加され、今後20～30年間の具体的な河川整備内容を示す「河川整備計画」を決定するに当たり、住民の意見を反映させ、学識経験者や自治体の意見を聴くことが定められました。

この改正河川法の趣旨に基づき淀川水系では、学識経験者を有する人や地域の特性にくわしい人からなる「淀川水系流域委員会」を組織し、今後の淀川、猪名川の整備のあり方について検討を行っていただき、平成15年1月17日、「新たな河川整備をめざして—淀川水系流域委員会 提言—」をいただきました。

委員会の運営は、国土交通省近畿地方整備局（河川管理者）から独立して委員が自主的に行い、会議および会議資料、議事録等はすべて公開し、あらゆる機会を通して幅広い意見を収集するなど、これまで例を見ない方法で進められました。近畿地方整備局は、この「提言」を受けて、余野川ダム計画の見直しを検討してきました。その結果を5月16日の委員会に説明しました。

そこで、余野川ダム計画の見直し（案）を住民のみなさんにも説明し、意見交換をする場を設けることとしました。

河川法の改正の流れ

明治 29
1896

近代河川制度の誕生

治水

昭和 39
1964

治水・利水の体系的な制度の整備
●水系一貫管理制度の導入
●利水関係規定の整備

治水 + 利水

平成 9
1997

治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備
●河川環境の整備と保全
●地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入

治水 + 利水 + 環境

淀川水系河川整備計画策定の流れ

流域に生活する私たちの意見も反映させてほしい

淀川水系流域委員会
平成13年2月スタート

住民、自治体等から意見聴取

国土交通省近畿地方整備局へ
「新たな河川整備をめざして—淀川水系流域委員会 提言—」

淀川水系河川整備計画策定にむけての
説明資料

流域委員会から意見聴取

住民、自治体等から意見聴取

淀川水系河川整備計画原案

流域委員会から意見聴取

住民、自治体等から意見聴取

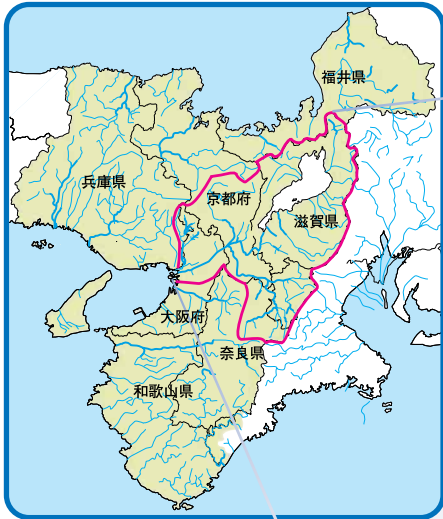
淀川水系河川整備計画決定



国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所

お問い合わせは…猪名川河川事務所 河川整備計画説明会 係 TEL.072-751-1111
猪名川総合開発工事事務所 河川整備計画説明会 係 TEL.072-725-1081

淀川水系流域図



対象範囲

本計画では、淀川水系の指定区間外区間（大臣管理区間）を計画対象とする。ただし、計画策定上必要となるその他の区間、流域についても言及する。

- 完成ダム（国土交通省、水資源開発公団）
- 事業中ダム（国土交通省、水資源開発公団）
- 大臣管理区間
- 府県境界

猪名川流域

淀川流域

琵琶湖流域



昭和35年

河川の
付け替え



平成元年



昭和58年9月 網延橋付近



三ヶ井井堰



下河原ワンドで遊ぶ子供たち



河川情報表示板



オギの群生



ボランティアによる河川清掃



ゴミの投棄



一庫ダムの湧水

ご意見用封筒

裏面にご意見をお書きの上、外側の太い線で切り取り、点線で折ってのりづけし、ご投函下さい。



破線に沿って
切り取ってください。

(やまあり)

料金受取人払
箕面局承認
67
差出有効期限
平成15年12月31日まで
(切手不要)

余野川ダム



河川整備計画説明会係 行
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所

大阪府箕面市牧落1-19-30
9
562-8790

(全封筒)

(全封筒)

(やまあり)

この面がのりしろになります

この面がのりしろになります

この面がのりしろになります

■差出人住所
〒 _____
氏名 _____

ご意見用封筒・FAX送信票

FAX
送付先 **072-725-1090**

この用紙は資料請求用とご意見用を兼用しています。

資料請求

資料の送付を希望される方は資料請求欄に○印を付け、ご住所、お名前、年齢等をご記入の上、郵送の場合、外側の太い線で切り取り、点線で折ってのりづけし、ご投函下さい。FAXの場合、下記の資料請求欄に○印を付け、ご住所、お名前、年齢等をご記入の後、FAX送付先に本票を送信して下さい。

ご意見

郵送の場合、下記の面にご意見をお書きの上、ご住所、お名前、年齢等をご記入の後、外側の太い線で切り取り、点線で折ってのりづけし、ご投函下さい。FAXの場合、下記の面にご意見をお書きの上、ご住所、お名前、年齢等をご記入の後、FAX送付先に本票を送信して下さい。

のりしろ

資料請求

ダムの資料を請求する

・しない ・する

左の欄のいずれかに○印をおつけ下さい。

■寄せられたご意見は、公表させていただく場合がございます。いただいた情報は、河川整備計画策定以外の目的に利用することはありません。ご意見を公表する場合には、お名前、ご住所（居住地の市町名まで）、職業（団体名等も含む）も公表させていただきます。お名前等公表に支障がある場合は（否）を○でお囲みください。

フリガナ		年齢	※いずれかに○を付けてください。 ・～10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上	
お名前	公表について (否)	職業	公表について (否)	※いずれかに○を付けてください。 団体名等 ・学生・会社員・公務員・自営業・自由業・その他()
	E-mail		電話番号	
ご住所	公表について (否)	性別		
			男・女	
流域委員会(または部会)を ※いずれかに○を付けてください。		・知っている・知らない		

●ご記入漏れがないよう、今一度ご確認ください。

ご意見

余野川ダムについてのおなただご意見をお聞かせ下さい。

寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。
いただいた情報は、河川整備計画策定以外の目的に利用することはありません。